

2024年10月2日

万平ホテル

2024年10月2日(水) グランドオープン

130年の時をつなぐ万平ホスピタリティ～文化・歴史・自然を紡ぐ～

万平ホテル（所在地：長野県北佐久郡軽井沢町、総支配人：佐々木一郎）は、創業130周年記念事業として進めてまいりました大規模改修・改築工事を終え、2024年10月2日(水)11時にグランドオープンいたしました。



万平ホテル グランドオープニングセレモニー

グランドオープンを迎えた本日、当ホテルアルプス館エントランス前にて、テープカットセレモニーが行われました。創業当初より、「おもてなしは心なり ホテルは人なり」の言葉と共に受け継がれている“万平ホスピタリティ”を表現するように、アルプス館エントランスにはホテルアソシエイトの面々が並び、万平ホテルらしい温かみのある開業となりました。

登壇者：万平ホテル 総支配人 佐々木 一郎

万平ホテル 支配人 西川 眞司

万平ホテル 調理部 レストランシェフ 須江 正充

万平ホテル オペレーション部 料飲担当 石井ひかる

万平ホテル オペレーション部 フロント アシスタントマネージャー 宮澤 暁

万平ホテル オペレーション部 ゲストリレーションズ スーパーバイザー 小宮山 真一

他アソシエイト一同

【万平ホテルについて】

当ホテルは、避暑地軽井沢とともに一世紀を超える歴史を歩み続けるクラシックホテルで、今年、1894年（明治 27 年）の創業から 130 年を迎え、大規模改修・改築工事を実施いたしました。

1936 年（昭和 11 年）に建てられ、2018 年（平成 30 年）に国の登録有形文化財に登録された「アルプス館」は、軽井沢の景観に調和したハーフ・ティンバー風の外観意匠や、和洋折衷の室内意匠などから、戦前・戦後を通じ、現在に至るまで数多くの著名人や政界人などに愛されてきました。本改修・改築事業では、「130 年の時をつなぐ万平ホスピタリティ～文化・歴史・自然を紡ぐ～」をコンセプトに、日本ホテル史上における貴重な歴史的建造物としての伝統を守り、長く未来にわたりクラシックホテルとしての格式ある滞在をお届けすることを目指してまいります。



アルプス館 イメージ

【施設概要】

万平ホテルは、昭和 11 年の建築時より、多くの賓客に愛されてきたアルプス館、ホテルの歴史を想いつつ、新たな軽井沢の風を豊かな緑とともに感じられる愛宕館、碓氷館、そしてバンケット棟の全 4 棟で構成されています。

当ホテルのシンボルでもあるアルプス館は、全 12 室の客室に加え、ホテル伝統のフランス料理を新たなエッセンスと共に楽しみいただけるメインダイニングルーム、軽井沢の自然を楽しむカフェテラス、オーセンティックなバー、レセプションなどから成り、ホテルにいらっしゃる皆様を、これまでと変わらない姿でお迎えいたします。



アルプス館 客室イメージ

今回のリニューアルを機に新築した愛宕館は、全 30 室に当ホテル初となる温泉風呂を設え、随所にあしらわれた当ホテルの伝統的なモチーフを楽しみながら癒しのひと時をお過ごしいただけます。



愛宕館 客室イメージ

全 44 室の碓氷館には、デザインが異なる 2 つの客室タイプと、テラス付きのお部屋をご用意。窓の外に広がる豊かな自然を楽しみながら、喧噪を忘れ、軽井沢らしい時間をお過ごしいただけます。

新築したバンケット棟では、大きな窓が印象的な「桜」の間にて、軽井沢の自然を間近に感じられる華やかな婚礼・宴会をお受けいたします。



碓氷館 客室イメージ

ホテルとして開業してから 130 年。万平ホテルは、創業当初からアソシエイト一人一人に受け継がれている、万平ホテルらしいおもてなし「万平ホスピタリティ」を大切に、次の 100 年先も記憶に残るホテルへ、変わらぬおもてなしでお客様をお迎えます。

□□□□□ □□

開業日：2024 年 10 月 2 日(水)

住所：長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 925

アクセス：軽井沢駅より徒歩約 30 分、タクシー約 5 分（2 km）

ホテル施設：客室（全 86 室、36 m²～91 m²）、レストラン「メインダイニングルーム」（フランス料理）、カフェテラス、バー、ショップ、バンケット、ファンクショナルルーム、駐車場

ホテル公式 HP：<https://mampei.co.jp/>

本件に関する報道関係の皆様からのお問合せ先

万平ホテル 広報担当 西澤美奈子

電話:0267-42-1234 FAX:0267-42-7766 E-mail:promo@mampei.co.jp